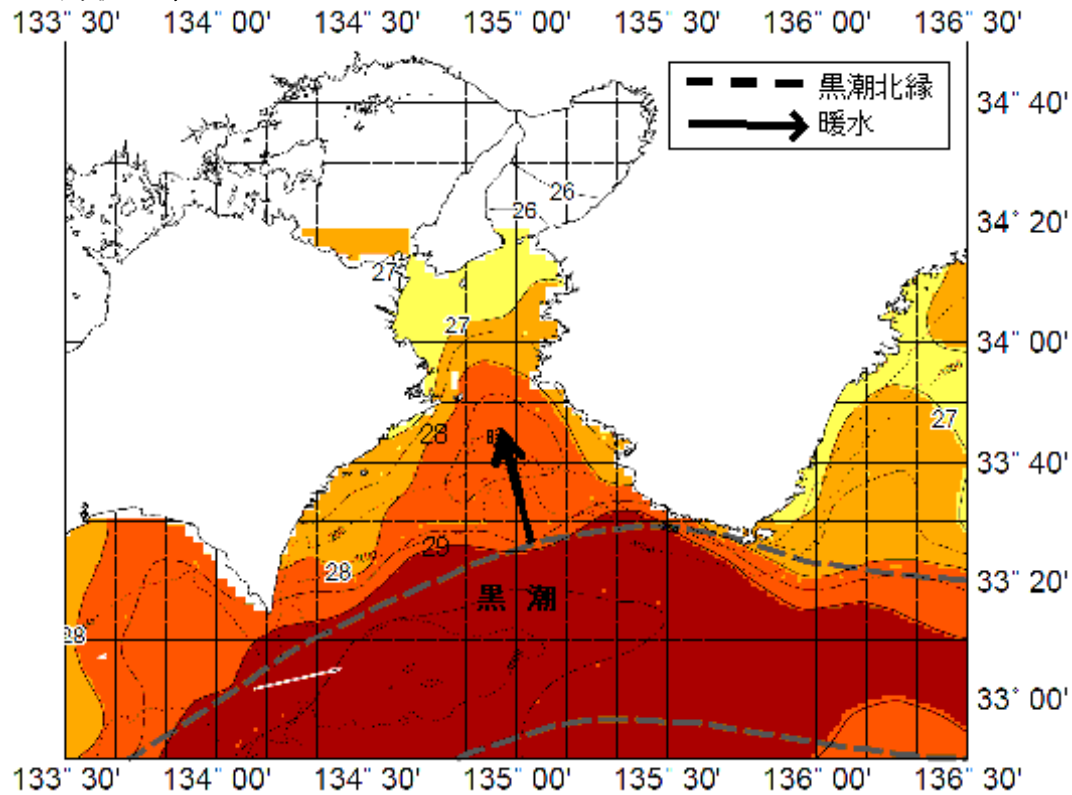


1. 海況の経過

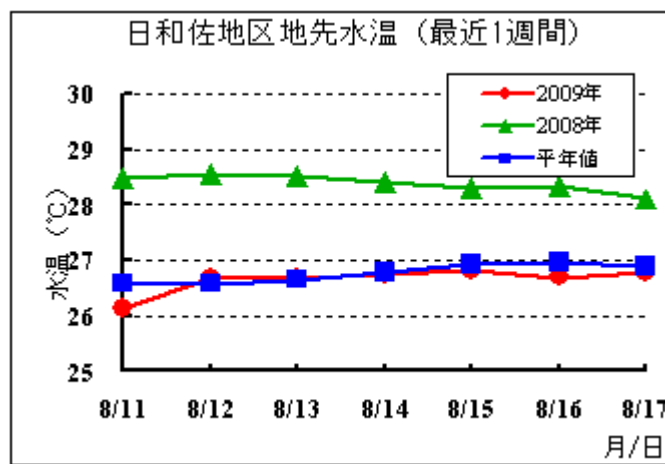
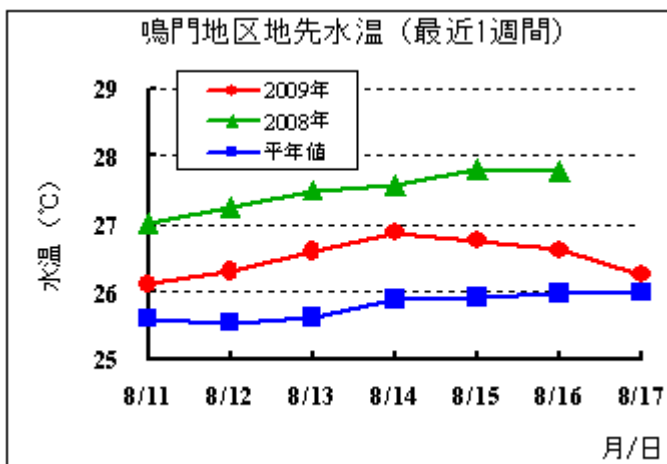


海況

上に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県および和歌山県が共同で作成した海況図(H21.8.17)を示した。黒潮は、室戸岬沖・潮岬沖で接岸している。室戸岬以西の黒潮は、都井岬で接岸、足摺岬沖でやや離岸している。黒潮本流の表面水温は29～30℃台である。表面水温は播磨灘が26℃台、紀伊水道と紀伊水道外域で27～28℃台である。紀伊水道外域では、室戸岬沖から潮岬の間で、紀伊水道内に向けた暖水の波及がみられる。暖水波及の影響を受けて、紀伊水道外域中央部では、水温の高い範囲がみられる。漁業調査船「とくしま」によると、海部沿岸の潮流は、下り潮となっている。

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」～「やや高め」の26.1～26.9℃、日和佐地区は「平年並み」の26.1～26.8℃、牟岐地区は「やや低め」～「やや高め」の26.3～28.0℃で推移した。



2. 漁況の経過

集計期間にお盆の休漁あったため、漁獲量は少なかった。
延縄:海部沿岸で、中主体にアカムツが0.1トン(1日1隻当たり12kg)水揚げされた。
釣り:海部沿岸で、イサキが0.1トン(同7kg)、マルソウダが0.1トン(同4kg)、海部沖合で、特大主体にカツオが0.6トン(同147kg)、大主体にキハダが0.2トン(同117kg)、紀伊水道で、中主体にサワラが0.1トン(同37kg)、特大主体にタチウオが0.2トン(同17kg)水揚げされた。
パッチ網:紀伊水道で、シラスが16.5トン(同500kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋) 8月10日～8月16日 県下7漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出 漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり 漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄		アカムツ	10	117	12	中主体
釣り	海部沿岸	イサキ	17	111	7	
		マルソウダ	27	107	4	
		カツオ	4	586	147	特大主体
	海部沖合	キハダ	2	233	117	大主体
		サワラ	3	112	37	中主体
	紀伊水道	タチウオ	11	191	17	特大主体
パッチ網		シラス	33	16,500	500	

週間予報:

黒潮は、室戸岬及び潮岬で「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先は、「平年並み」～「やや高め」の26℃台後半、日和佐地先は「平年並み」の27℃台で推移する見込み。

他県情報:

和歌山県では、ひき縄でカツオ1.2トン(1日1隻あたり12kg)、定置網でマアジ0.3トン(同42kg)、釣りでスルメ2.5トン(同20kg)、サバ0.4トン(同3kg)、タチウオ0.5トン(同4kg)、イサキ4.0トン(同32kg)、マルアジ0.3トン(同2kg)、パッチ網でシラス7.0トン(同115kg)が水揚げされた。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上